

南宮遺跡 発掘調査現地説明会のご案内

長野市埋蔵文化財センターでは、2028（令和10）年開催予定の第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会に向けた南長野運動公園フットボール場整備に先立ち、平安時代の大集落として知られる南宮遺跡の発掘調査を令和6年9月から実施しています。

これまでに古墳時代と平安時代の竪穴建物跡が230棟以上みつかるなど、広大な南宮遺跡の東側集落域の様相が明らかになりつつあります。

このたび、調査成果をいち早く市民の皆さまへ公開するため、下記のとおり発掘調査現地説明会を開催します。多くの方のご来場をお待ちしております。

記

1 場 所 長野市篠ノ井東福寺 南宮遺跡発掘調査現場（裏面案内図を参照）

2 日 時 令和8年6月14日（日） 入場無料・申込不要

午前の部 午前10時30分から（受付開始：午前10時）

午後の部 午後1時30分から（受付開始：午後1時）

※ 各回とも説明内容は同じ、所要時間は1時間程度を予定

3 内 容

- ・発掘現場内を解説員の案内によりご見学いただきます。
- ・現場事務所内にて南宮遺跡から出土した遺物等を展示します。

※ 雨天の際は現場事務所での出土品展示のみ（現場見学は中止）

4 注意事項

- ・駐車場は南長野運動公園第一駐車場をご利用ください。
- ・発掘現場は足元が悪いため、履きなれた靴でお越しください。

※ 安全のため、サンダル等でお越しの方は現場見学をお断りします。

5 注目される調査成果

有力者の墓と考えられる木棺墓^{もっかんぼ}を発見！

長さ約2.8m、幅約1.5mの長方形の掘り込みの中から、多くの副葬品とともに人骨の一部が出土しました。人骨をとり囲むように鉄釘が多数出土していることから、埋葬の際に木棺が使われ、棺の部材を鉄釘でとめていたものと推測されます。

副葬されたものは、灰釉陶器の広口壺・椀、黒色土器や土師器の杯・小甕など15点余りに及びます。

墓の形態や副葬品の内容から、今から1,050年ほど前の10世紀中頃～後葉（平安時代）につくられた有力者の墓と考えられます。埋葬されたのはどのような人物であったのか、今後の分析に注目です。



▲ 人骨の出土状況
（木棺墓全景）

▼ 副葬された品々

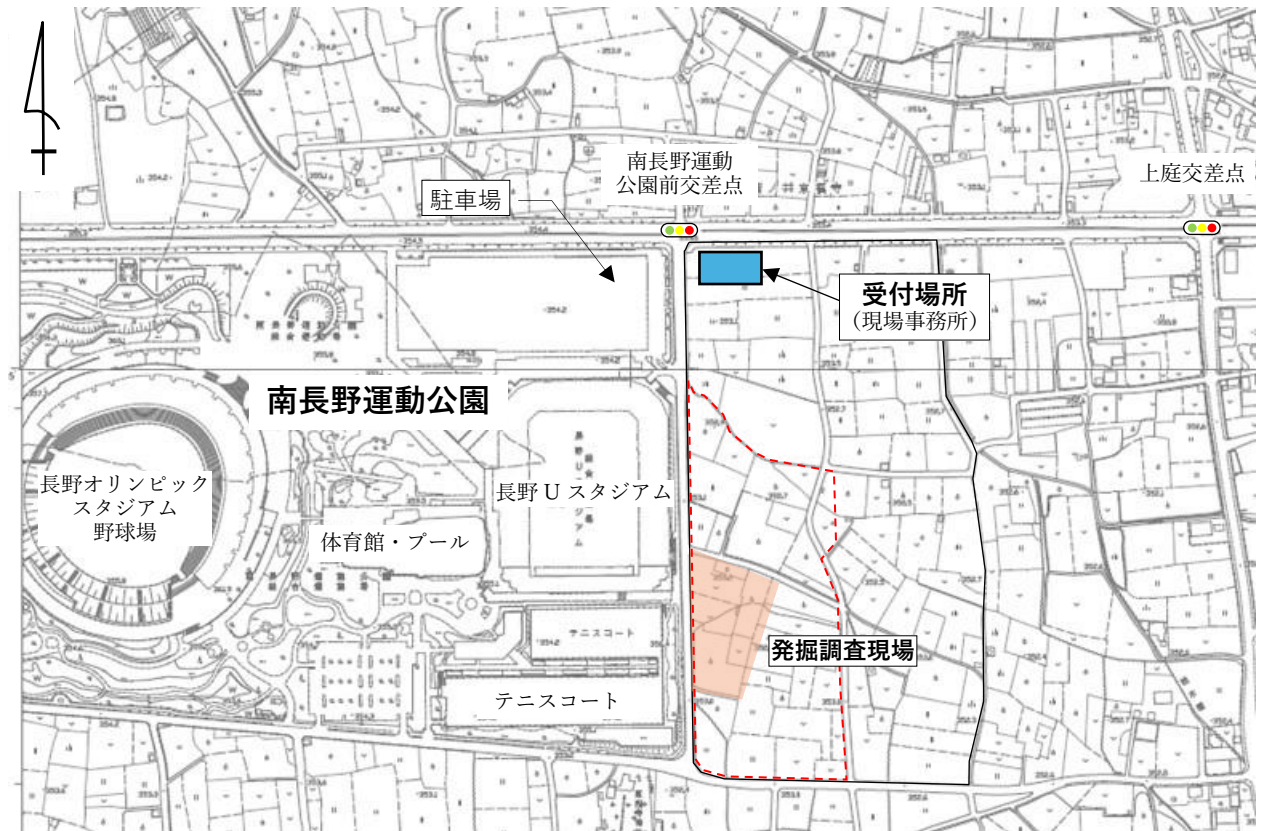
6 お問い合わせ

長野市観光文化部 長野市埋蔵文化財センター（担当：塚原）

電 話：026-284-0004

メール：maibun@city.nagano.lg.jp

◆ 南宮遺跡発掘調査現地説明会 案内図



※ お車でご来場の際は、南長野運動公園第一駐車場をご利用ください。

◆ 駐車場・受付場所案内図



※ 徒歩で一部車道を通行・横断する際には、交通安全に十分ご注意ください